

日野町の中学生が韓国訪問 言葉の壁を越えて友情を育む

8月2日(火)から5日(金)までの3泊4日、日野町と姉妹都市提携を結んでいる韓国の恩山面(うんざんめん)に15名の日野町中学生使節団が訪問しました。

この恩山面と日野町の中学生の恩山面での交流は今回で9回目となり、両国の中学生が言葉の壁を越えた心の交流をはかりました。

いざ恩山面へ

日野町を出発し約6時間、韓国に到着し、恩山面へ移動しました。恩山面事務所へ到着すると面長室で面長さん達と面会し、恩山面のことなどについて教えていただきました。恩山面は、田園風景が広がる日野町と良く似たところで、皆さん温かく迎え入れてくださいました。

友情を育む

日野町と恩山面が交流するきっかけとなった恩山別神堂(しんどう)を訪れた後、恩山中学校へも訪問し、昨年日野町

を訪問された生徒達が出迎えてくれました。昨年の交流以来の再会に、みんな喜んでいました。

中学生同士の交流会が行われました。午前中は高麗人参の製造会社を見学し、その後はグループに分かれて扶蘇郡内を見学しました。生徒達は片言の英語やジェスチャーで楽しく交流していました。

夕食の交流会では、近づいてくる別れを惜しみながらも、韓国の皆さんの心のもったおもてなしに、楽しいひとときを過ごしました。

かけがえのない 思いを胸に

ソウルを経由して帰路につきました。生徒達は国境を越えた、生涯忘れることのできない友好関係を築くことができました。団員同士も仲良くなり、韓国の思い出や韓国と日本の文化の違いなどについて楽しく話し合っているとあつという間に日野町へ到着しました。



▲別れを惜しむ両国の中学生

使節団メンバー(敬称略)

- 団長 今宿綾子(日野町教育長)
- 副団長 村岡英美(日野中学校教諭)
- 団員 大塚由椰(3年)
- 岡崎彩夏(3年)
- 福本結々(3年)
- 神吉寛生(2年)
- 清水さくら(2年)
- 神野出帆(2年)
- 菅原まや(2年)
- 杉原伶奈(2年)
- 塚本哲平(2年)
- 西河桜(2年)
- 西川脩(2年)
- 増田遥(2年)
- 松浦匡志(2年)
- 南川晴飛(2年)
- 横山諒(2年)
- 随行 岩脇俊博(町教育委員会)
- 横山のりこ(町職員)



▲百済文化団地にて

中学生使節団の

感想から

訪問された中学生の皆さんの印象に残ったことや感じたことを紹介します。

大塚由椰(3年)

この交流のおかげで、自分の考えることと実際のは、本当に自分で体験しないとわからないのだと学びました。恩山面訪問使節団のメンバーとして、肌で恩山面との交流が体験できたことをとても嬉しく思っています。

岡崎彩夏(3年)

今の時代、インターネットを使えば、世界のどんな地域の情報も一瞬でたくさん手に入ります。でも、私は今回の訪問で現地に行かないと感じられない、インターネットの情報の何千倍、何万倍もの価値がある経験ができました。現地へ行き、韓国の文化に触れ、日本の文化の良さを再発見し、お互いの文化の違いを学ぶことができました。

福本結々(3年)

言葉が通じなくてもジェスチャー等で、「人に伝えるという気持ちがあれば伝わる」とい

うことがわかりました。とても良い経験ができ、新しい友だちもできて良かったと思います。

神吉寛生(2年)

恩山面の方や恩山中学生との会食では、紙を見ながら日本語を話しかけてきてくれたので、僕たちもわかる限りがんばって韓国語で答えました。僕たちの班の男子は野球をしていて、野球の話をするのもとても楽しかったです。

清水さくら(2年)

昨年恩山中学生の方が日野町を訪問されたときに、音楽部として歌を披露させていただきました。今回訪問したときに恩山面の方が歌を披露したことを覚えてくださっていて、交流はずっと心に残っているんだなあと感じました。

神野出帆(2年)

恩山中学生との食事では、ジェスチャーを交え、楽しく会話をしながら食べました。野球好きな恩山中学生から野球ボールをもらい、とても大切にしようと思いました。

菅原まや(2年)

今回は4日間の訪問だった

ので、韓国のほんの一部を体験したにすぎません。あれを聞いておけば良かった、もっと勉強してから行けばよかったと思うこともあるので、この訪問をきっかけに、自分でも韓国や日本の文化についても知りたいと思いました。

杉原侘奈(2年)

恩山面の中学生と話すときは、一生懸命に英語やスマートフォン翻訳機能を使い、それでも伝わらなかつたら通訳さんに頼んで伝えてもらいました。片言の英語をつかって伝わったときはすごく嬉しかったし、達成感がありました。

塚本哲平(2年)

恩山面の中学生のみんなはフレンドリーで親しみやすかったです。

韓国訪問を通じて感じたことは、国や言語が違っても何か繋がるものが少しでもあれば仲良くなれるということです。メールのやり取りができる友だちもできました。

西河桜(2年)

恩山中学生との交流では、向こうからフレンドリーに接してきてくれたのであつという間に仲良くなれました。食

事るときは料理をよそつてくれたり、その説明をしてくれたりと積極的に日本語を交えて話してくれました。私も、しおりを見ながら韓国語とジェスチャーで伝えたいことをがんばって伝えました。伝わったときはとても嬉しくて少し感動しました。

西川脩(2年)

みんなより早く海外へいけたことを上手く将来へ活かしていきたいですし、4日間に限るんなりに支えてもらいました。バスの運転手さんやガイドさん、家族等いろんな人達に支えてもらい韓国にいたことに感謝し、その期待と希望を裏切らないようにしていきたいと思います。

増田遙(2年)

自分の住んでいる国とは違う国に住んでいる人達と交流をし、一生の友だちができ、たくさんの方々と自分の力で話すことができ、とても良かったと思います。その方々と連絡をとりあい、より交流を深めたいと思います。

松浦匡志(2年)

今回の体験はすごく良かったです。言葉は通じなくても

英語やジェスチャーで伝わるし、仲良くなる事ができるということがわかりました。

南川晴飛(2年)

この4日間でたくさん友だちができ、日野町と恩山面との関わり等を勉強できて良かったと思います。また韓国に行ったら、じっくりと見学したいです。とても楽しかったので、これからも日野町と恩山面との交流を仲良くしていつてもらいたいです。

横山諒(2年)

恩山中学生との会食では、言葉の壁というものもあつて、上手く話せるか心配でしたが、積極的に話しかけ、話しかけられたら笑顔で応えることで言葉の壁を越え、仲良くなられました。少しの英語のスキルでも話すことができ、言葉や国なんて関係ないんだということを知りました。

問い合わせ先

国際親善協会事務局

(企画振興課 秘書広報担当)

☎ 0748-52-6550